

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪地域信州こどもカフェ推進事業
事業主体 (連絡先)	諏訪圏域子ども応援プラットフォーム (090-1865-7933)
事業区分	地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	624,330円 (うち支援金: 495,000円)

事業内容

- ① こどもカフェマップ、リーフレットの作成
編集委員会でマップを作成。保育園、幼稚園、小中高の全児童生徒へ配布を行ない、公共施設、登録団体、協力企業へも配布した。
- ② 月刊ぷらざへの広告掲載
「月刊ぷらざ」へ居場所の開催情報を毎月掲載した。
- ③ 信州こどもカフェ普及推進のための交流会の実施
オンラインおよび対面により交流会を実施した。



【ハラカツ！での交流会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① マップ掲載の募集により登録団体数が増えた。全児童生徒への配布や各所への設置により幅広く住民の目に留まるようになった。また、行政との共同での配布により各自治体も民間の居場所を知るきっかけにもなった。
- ② 毎月の継続的な掲載によりこれまで居場所に繋がらなかった地域住民の居場所への参加を促し、掲載希望団体の新規登録もあった。
- ③ コロナ禍で従来の活動が出来ない中で他団体との情報交換ができ、活動に活かすことができた。また、オンライン開催により遠方の団体とも交流できた。

今後の取り組み

現在の活動を引き続き行っていくことで、さらに連携を推し進め、地域の子供や大人が孤立化しない取り組みを続けていく。地域で子どもを育て、誰もが認められる諏訪圏域となることを期待する。

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

【目標・ねらい】

- ① 地域内の子どもたちに居場所の存在を知らせる。
- ② 参加者の増加
- ③ 各機関の連携による総合的な子どもの居場所の普及促進

※自己評価【B】

【理由】

登録団体や協力企業を増やし、このような状況下でもWEB等の活用によりつながりを絶やさない活動が出来た。人と人との接触を避けるという状況のため、各種活動で増えた協力者を十分に生かすことができなかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある